

IGER Seminar

創薬科学研究科・環境医学研究所とのJoint Seminar

メタボリックシンドロームと慢性炎症

Role of chronic inflammation in metabolic syndrome

講師 菅波 孝祥 教授

Takayoshi Suganami, M.D., Ph.D.

名古屋大学環境医学研究所 分子代謝医学分野

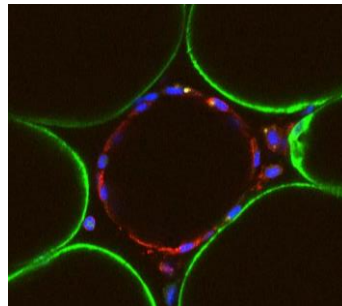
Professor, Department of Molecular Medicine and Metabolism,
Research Institute of Environmental Medicine, Nagoya University

近年、種々の生活習慣病の基盤病態として「慢性炎症」が注目されている。慢性炎症の特徴として「組織リモデリング」が挙げられるが、従来、内分泌代謝学では、ホルモンの産生や作用に関して精力的に研究が行われてきた一方、臓器局所の組織学的変化に関する知見は乏しかった。我々は、メタボリックシンドロームの起点となる肥満の脂肪組織において、代謝性に誘導される組織リモデリングの分子機構を明らかにするとともに、脂肪組織炎症による異所性脂肪の新たな病態メカニズムを解明した。

本講演では、メタボリックシンドロームにおける慢性炎症の分子機構に関する最近の知見を紹介し、慢性炎症を標的とする生活習慣病の治療戦略の開発に向けた取り組みを紹介する。

参考文献：

Sci. Rep. 6: 28845, 2016
Nat. Commun. 5: 4982, 2014
Diabetes 63: 152-161, 2014
PLoS ONE 8: e82163, 2013
Diabetes 60: 819-826, 2011
Am. J. Pathol. 179: 2454-2463, 2011



博士課程教育
リーディング
プログラム
Program for
Leading
Graduate Schools

プラットフォーム システムバイオコース

◆日時 10月3日(月)17:00~18:15

◆場所 理学南館1F セミナー室

<http://www.nagoya-u.ac.jp/access-map/higashiyama/sci.html>

